

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14  
電話 (243) 0141  
13年 7月 21日

## 参議院選挙 消費税増税・物価値上げの安倍/ミクス許せない!

自民党	41%	➡	43%
共産党	5%	➡	6%
民主	7%	➡	6%
維新の会	7%	➡	6%
みんなの党	7%	➡	6%

### 比例の投票先の動向

一三・一四日時点の朝日新聞調査

## 自民党の暴走を世論も危惧

参院 自民で単独過半数

### 賛成三六%・反対四七%

朝日新聞(一五日)は、自民党が七〇議席に迫る勢いと報道。しかし、それを危惧する世論も大きくなっています。

### 自民党

- 消費税増税・大企業に大胆な減税
- 原発再稼働! 原発輸出推進
- 憲法9条変えて「国防軍」基本的人権も制約
- 公約違反のTPP推進

## 自民党の暴走ストップできる勢力を伸ばそう

### 週刊ポスト

(自民党暴走) にストップをかける「反自民」の政党は、選挙のなかに見当らない。もう口先ばかりの民主党を信頼する気にはなれない。昨年まで威勢のよかった「第三極」が内部分裂や自爆を重ねる様を見れば、彼らも頼りにならない。ならば選挙にいらていなかったが、反自民を鮮明にする共産党に投票してしまえーということだ。

### 日本母親大会成功に

ご協力をお願いします。

婦人部では、日本母親大会代表派遣のため左記の商品を販売して財政活動を行っています。暖かいご理解とご協力で代表を送りだし、今年で五十九回を迎える母親大会を成功させ、運動の力にしたいと取り組んでいます。どうぞよろしく願います。

- 小豆島そうめん・・・二千円
- 小豆島ひやむぎ・・・二千円
- 大分産干しいたけ・・・千四百円
- 焼のり・・・千円
- オニザキのごま(三袋)・・・千円
- ホタテ貝柱・・・千二百円
- 古代米・・・千円

# ～高すぎる保険料の引き下げと保険加入に見合う適正な労務単価を！～

## 社会保険問題の進歩を促進

最近「元請に『社会保険の加入が無いと現場に入れられなくなる』と言われた」などの声が多く出されたことから、社会保険についての交流会を開催しました。

交流会では冒頭に野沢事務局長が、現在の社会保険制度や建設業界での動き、滞納した場合の状況などについて説明。続いて助言者として参加してもらった社会保険労務士の方から、日本年金機構の動きについて説明が。



その中で社労士さんは「年金機構は二～三年前から厳しくなった。社労士は知識はあるが力はない。民商でみんながまとまって交渉することが大事だ」と話していました。

## 高すぎる保険料と厳しい実態

その後は参加者同士が現在の状況の交流。「常用でやってきたので役員以外は未加入。常用で使っている人も加入しろと言われたら、とても商売をやっていけない」（北区・建設業）「従業員が一〇名いるが、冬場は仕事が無く支払いがとてつきつい。春には必ず年金機構の呼び出しをうけている」（南区・地質改良）などの厳しい実態や、「現場に入るための作業員名簿に社会保険と雇用保険の番号を書く欄がある。常用で使っている人の分を空欄にするとつき返される。最近では直近の社会保険料の領収書の提出を求められた」（東区・建設業）などの現場での実態が出されます。

また現在、年金機構から調査での呼び出しをうけている人も参加していましたが、社労士さんから「よほど悪質でない限りは二年遡ることはありません」との話に一安心の様子でした。



（下段に続く）

## 適正な単価と保険料を求めていく

新潟県が労務単価を一三・五%引き上げたことについても交流がされました。「単価は少し上がっているようだが社会保険料に見合う金額ではない」「社会保険料分を含めて見積もりを出すはその分は切られる」など、積算の労務単価が上がっても下請けに反映されていない実態が出されます。また国土交通省が業界団体ごとに「標準見積書」の作成を指導していることについては全く知られていませんでした。

今後の要望について参加者からは「行政は指導するだけではダメだ。きちんと下請代金のチェック機能を作って、例えば法定福利分を下請に払わない業者は入札参加させないなどの条件を作って欲しい」「大企業と中小企業が同じ負担率では公平でない。中小企業に負担軽減制度を作って欲しい」などの要望が出し合われました。最後に今後も情報交換を兼ねての交流会を計画していくことを確認して閉会となりました。

## 新潟県青協学習会・拡大幹事会開催

七月一四日、新青協では基本方向学習会&拡大幹事会を開催しました。県内の八民商から二一名が参加し、活発な討論が行われました。



学習会の前には参加者の自己紹介・活動交流を行い、それぞれの商売の現状を話し合いました。特に建設業の参加者は忙しい人が多く、「民商で作った住宅リフォーム制度を活用できたおかげで途切れずに仕事があった。制度があつて本当に良かった」（佐渡民商）との声が出されました。

基本方向学習会では小林全青協副議長（三条民商・鋼材販売）が講師となつて、民商の歴史から始まり、運動と基本方向、これからの組織建設についてなどを丁寧に説明してくれました。「地元の青年部でもやってみよう」「基本方向を学習する機会がなかったが、とても大事なことだと思う」と大好評でした。

また、一〇月開催予定の業者青年交流会について意見が出し合われ、一〇月五、六日に開催が決まり、内容については今後計画していくこととなりました。